

交通事業経営ビジョンにおける主要施策の中間評価および今後の取り組み

基本方針	施策目標 (経営ビジョン該当頁)	主要施策	取り組み状況(R3)	計画前期(H29~R3)の取り組み状況	年度別 評価	中間 評価	中間評価理由	計画後期(R4~R8)の見通し・取り組み
1 安全で信頼される公共交通	(1) 安全性の向上 (P28)	① 施設の計画的な改良・更新	十字街～魚市場通間の軌道改良工事(L=177.8m)を実施しました。	電車停留場安全地帯へのスロープ設置、電路の改良、軌道の改良、軌道分岐器の更新などを実施しました。(軌道改良延長 L=846.2m/5年)	H29 B H30 B R1 B R2 B R3 B	II	概ね計画どおり整備することができたため。	今後も、施設全体の計画的な改良・更新に取り組むほか、軌道改良工事については、当該工事と完成した軌道構造が同一の「軌道舗装修繕工事」を軌道改良延長に加え、一層の安全性の向上に努めます。
		② 運転技能向上への取り組み推進	各交通安全運動期間中の添乗指導を行いました。また、事故防止研修時には、ドライブレコーダーの実際の画像を使用し同種事故の未然防止やレベルアップに努めました。	立哨、添乗指導や事故防止研修を実施するなど、輸送の安全を確保するための取り組みを進めました。	H29 B H30 B R1 B R2 B R3 B		概ね計画どおりの取り組みを実施したため。	今後も、立哨、添乗指導や事故防止研修を実施するなど、輸送の安全を確保するための取り組みを進めます。
		③ 安全管理体制の強化	運輸安全マネジメントの推進に向けて、安全方針や安全重点施策を策定し、各種訓練や研修を実施しました。また、安全管理体制を確認するために内部監査を実施しました。	安全方針や安全重点施策を策定し、訓練や研修を定期的に行うなど、運輸安全マネジメントを推進しました。	H29 B H30 B R1 B R2 B R3 B		概ね計画どおりの取り組みを実施したため。	今後も、策定した安全方針や安全重点施策に基づき、訓練や研修を定期的に行うなど、運輸安全マネジメントを推進していきます。
		④ 軌道内電車優先運行についての啓発強化	啓発リーフレットを市内自動車学校や街頭でドライバーに配布したほか(合計1,200枚)、企業局だより・ラジオによる広報を実施しました。	関係機関への啓発リーフレット配布や広報活動を実施するなど、軌道内電車優先運行についての啓発に努めました。	H29 B H30 B R1 B R2 B R3 B		概ね計画どおりの取り組みを実施したため。	今後も、関係機関への啓発リーフレット配布や広報活動を実施するなど、軌道内電車優先運行についての啓発に努めます。
2 便利で快適な輸送サービスの提供	(1) 快適性の向上 (P30)	① 車両の改良・更新	1両の車体改良を実施しました。	11両の車体改良を実施し、1両の超低床車を購入しました。	H29 B H30 B R1 B R2 B R3 B	II	超低床車は、新型コロナウイルス感染症による経営状況を鑑み、購入を1年先送りしたが、車体改良については、目標水準を上回って実施できた。また、当初計画にない車椅子対応の部分低床車を、大規模改修により長寿命化でき、全体として、概ね計画どおり車両体制を維持できたため。	・計画上、車両の改良(17両)のうち、車体大規模改修(12両)、車体改良(5両)を予定しており、前者については、計画どおり実施見込みですが、後者については、日々の検査等により車両を維持してきた結果、補修用部品類の確保と委託事業者の技術力による修繕等をもって、計画期間中の車両体制に影響がないことから、3両の実施見込みへ変更します。 ・超低床車は、部分低床車の大規模改修を実施したことから、3両の予定を2両の購入に変更します。
		② 職員の接客マナーの向上	車椅子を利用する乗客への接客について研修を行い、サービスの向上に努めました。	外部講師を招いて接客研修を実施したほか、インバウンド接客研修会に参加するなど、接客マナーの向上に向けた取り組みを進めました。	H29 B H30 B R1 B R2 B R3 B		概ね計画どおりの取り組みを実施したため。	今後も接客研修を実施するなど、接客マナーの向上に向けた取り組みを進めます。
	(2) 利便性の向上 (P31)	① 情報発信の強化	グーグルマップで目的地への経路検索等を可能としました。また、ホームページで時間帯毎の混雑率の公表を行いました。	電車内の液晶ディスプレイを利用した情報発信を実施したほか、車内放送の多言語化の充実やグーグルマップで目的地への経路検索等を可能とするなど、情報発信の強化に努めました。	H29 B H30 B R1 B R2 B R3 B	II	概ね計画どおりの取り組みを実施したため。	・今後も、電車内の液晶ディスプレイを利用した情報発信や多言語化の充実を図り、ロケーションシステムの導入を進めるなど、情報発信の強化に努めます。
		② ICカードシステムの活用	ICカードデータを利用し利用動向調査を実施したほか、毎週月曜日のICカード利用実態を基に車内混雑状況をホームページへ公表しました。	IC定期券の運用を開始したほか、ICデータを活用した利用動向分析を実施し、更なる利便性の向上を図りました。(ICAS-nimocaカード 令和3年度末発行枚数 100,803枚) また、IC定期券導入時には、学割定期の割引率の引き上げを行ったほか、新たに6ヶ月定期を導入しました。	H29 B H30 B R1 B R2 B R3 B		概ね計画どおりの取り組みを実施したため。	今後も、ICデータを活用した利用動向分析を行い、利便性向上に努めます。
		③ 乗客需要に見合った適切な運行本数の確保	ICカードデータを利用し、利用動向調査を実施しました。また、低床車の運行を30分程度の等間隔から固定時刻へ調整したほか、利用者の減少に伴い、日中を8分間隔とするダイヤの検討を行いました。	乗客需要の調査や状況に応じた増車運行を実施したほか、令和2年度に日中を7分間隔とするダイヤに見直し、令和3年度には日中8分間隔の検討を行うなど、適切な運行本数の確保に努めました。	H29 B H30 B R1 B R2 B R3 B		概ね計画どおりの取り組みを実施したため。	今後も、乗客需要の調査の実施や状況に応じた増車運行を実施するなど、適切な運行本数の確保に努めます。

中間評価基準

I : 目標を上回った

II : 一定の進捗があった

III : 進捗が遅れた

IV : 進捗が著しく遅れた

- : 評価なし

交通事業経営ビジョンにおける主要施策の中間評価および今後の取り組み

基本方針	施策目標 (経営ビジョン該当頁)	主要施策	取り組み状況(R3)	計画前期(H29~R3)の取り組み状況	年度別 評価	中間 評価	中間評価理由	計画後期(R4~R8)の見通し・取り組み
2 便利で 快適な輸 送サービ スの提供	(2) 利便性の向上 (P31)	④ 料金体系に ついての調査研究	ICカードデータを利用し定期券の利用実態や電車・バス間の乗り継ぎ実態の調査を実施しました。	IC定期券導入へ向けて、割引率や期間などの見直しについて検討を進めました。 また、ICカードデータ利用による定期券の利用実態や電車・バス間の乗り継ぎ実態の調査を実施しました。	H29 B H30 B R1 B R2 B R3 B	II	概ね計画どおりの取り組みを実施したため。	今後も、利用しやすい料金体系について、引き続き調査研究を進めます。
		⑤ 交通機関相互の 連携強化	函館バスと連携し、電車・バス間の乗り継ぎ調査を実施しました。また、イベントを開催した場合の運行において、引き続き連携の確認をました。	函館バスと連携し全国相互利用可能なICAS-nimocaカードを導入し、乗り継ぎ割引制度を拡充しました。	H29 B H30 B R1 B R2 B R3 B		概ね計画どおりの取り組みを実施したため。	今後も、交通機関相互の連携による利便性向上に向けたサービスの提供について、検討を進めます。
3 まちや地 域への貢 献	(1) 地域社会への 貢献 (P32)	① 地域を支える 取り組みの推進	修学旅行シーズンでは貸切や増車を行いました。また、車体広告のガイドラインの見直しを継続して行いました。	地域のイベントなどに協力した増車運行を実施したほか、中心市街地活性化事業により、松風町、千代台の停留場を改良するなど地域を支える取り組みを進めました。	H29 B H30 B R1 B R2 B R3 B	II	概ね計画どおりの取り組みを実施したため。	今後は、シンプルカテナリー方式による架線吊架や車体広告デザインガイドラインの見直し等を進めます。
		② 人にやさしい 公共交通へ向けた 取り組みの推進	十字街電停改良について関係機関と協議を完了し、実施に向け詳細検討を行いました。	安全地帯へのスロープ設置、停留場をバリアフリー対応に改良したほか、超低床車両を購入するなど、人にやさしい公共交通へ向けた取り組みを進めました。	H29 B H30 B R1 B R2 B R3 B		新型コロナウイルス感染症による経営状況を鑑み、2両目の超低床車の購入を令和3年度から令和4年度に変更したが、停留場の改良等は、概ね計画どおり実施できたため。	今後も、安全地帯へのスロープおよび上屋設置へ向けた取り組みや超低床車の導入を進めます。
		③ 環境負荷の低減	運輸支局と環境部等との連携により、新たにスマートムーブデーの取り組みを実施しました。	エネルギー効率の良い車両を導入したほか、ノーマイカーデーなどの啓発活動を実施するなど、環境負荷の低減に努めました。	H29 B H30 B R1 B R2 B R3 B		概ね計画どおりの取り組みを実施したため。	今後も、エネルギー効率の良い車両の導入や省エネルギー運転に努めるほか、スマートムーブデー等の利用転換の促進に向けた取り組みを進めます。
4 経営基盤 の強化	(1) 収益力の向上 (P33)	① 市電の利用促進	夏休み期間中に小学生以下をターゲットにした少人数での貸切企画を実施しました。	旅行代理店への営業を行ったほか、車内放送の多言語化の拡充や利用促進に係るチラシを各戸に配付しました。 また、新たなスマホ型乗車券の販売試行や販売方法の開発など、利用促進に向けた取り組みを進めました。	H29 B H30 B R1 B R2 B R3 B	II	概ね計画どおりの取り組みを実施したため。	MaaS, DX, コロナ禍における非接触の推奨など、紙媒体を基礎とした販売方法の見直しの必要があると考えられることから、今後、この見直しについて検討を進めます。
		② 広告料収入の確保	車体広告の割引制度について、新規契約から廃止することとしました。また、意匠使用を許可し、商品開発に協力しました。	広告料金について車体広告の割引制度の見直しを行ったほか、意匠許諾を行うなど、収入の確保とイメージアップに向けた取り組みを進めました。	H29 B H30 B R1 B R2 B R3 B		概ね計画どおりの取り組みを実施したため。	今後は、広告料金について改定への取り組みを進めるほか、意匠許諾を行うなど、収入の確保とイメージアップに向けた取り組みを進めます。
	(2) 経営の効率化 (P34)	① コスト削減の 取り組みの推進	過年度から実施している新たな防錆塗料の試験塗布の経過観察のほか、車両検査周期延伸の試行を継続して実施しました。また、低コストでの車両冷房装置搭載について車体改良に合わせ実施することとしました。	新たな防錆塗料の試験塗布や車両検査周期延伸のための試行など、コスト削減の取り組みを進めました。	H29 B H30 B R1 B R2 B R3 B	II	概ね計画どおりの取り組みを実施したため。	今後も、新たな防錆塗料の試験塗布や車両検査周期延伸のための試行など、コスト削減の取り組みを進めます。
		② 効率的な 組織づくり	地方公務員法の改正に伴い、定年延長制度を構築しました。	他都市の民間への委託内容を調査したほか、各課の業務分析の結果を踏まえ、組織体制を見直すなど効率的な組織づくりに努めました。	H29 B H30 B R1 B R2 B R3 B		業務執行体制の見直し等により、適時適切に効率的な組織体制の構築に努めたため。	経営環境の変化に迅速かつ柔軟に対応するため、今後も効率的な組織体制の構築に努めます。

中間評価基準

I : 目標を上回った

II : 一定の進捗があった

III : 進捗が遅れた

IV : 進捗が著しく遅れた

- : 評価なし